

口腔衛生学会雑誌投稿規程（平成 28 年 8 月 23 日改正）

1. この規程は口腔衛生学会雑誌に掲載する原著 (Original Article), 総説 (Review Article), 論説 (Special Article: 口腔衛生学の教育・研究・臨床および口腔衛生の活動・政策・動向などについての提言), 症例報告 (Case Report: 口腔衛生・予防歯科に関する症例) または報告 (Report: 口腔衛生に関する実践, 活動, 材料, 技法および研究) および資料 (Information: 口腔衛生学上有用なデータ) の投稿について規定する。本規程に記載されていない事項については, その都度, 編集委員会で決定する。なお, 講演集については別に定める。
 2. 投稿は本会会員に限る。共著者が会員でない場合は, その氏名を本会雑誌に発表できない。
 3. 本会雑誌に投稿する論文は, 口腔衛生に関するものであって, 他の雑誌に投稿や発表または大学の図書館リポジリーで公開していないものに限る。
 4. 原稿はメール投稿によって送付すること。
投稿の要領については日本口腔衛生学会ホームページ (<http://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/>) を参照すること。
 5. 総説, 原著, 論説, 報告および資料は, 原則として刷り上がり 10 頁以内とする。
 6. 印刷に要した費用は, 原則として著者負担とする。ただし, 刷り上がり 8 頁までの印刷費の一部は学会が負担する。
 7. 原著および論説の掲載は受理順とする。
 8. 原稿の書き方は次の要領による。
 - i) 原稿は和文または英文にする。
 - ii) 和文原稿は新かなづかい, ひらがな横書きとする。ワード・プロセッサ使用の場合は, A4 判用紙に 12 ポイントの活字を用いて提出する (25 字 × 30 行, 余白左 30 mm, 右 70 mm, 上下とも 20 mm)。英文原稿は A4 判用紙にダブルスペースで 12 ポイントの活字を用いる (余白は和文原稿に同じ)。
 - iii) 表題, 著者名, 所属および必要があれば指導者名の順序に書き, 本文は別葉から書き出す。
 - iv) 原稿の構成は原則として, はじめに (またはまえがき, 緒言), 材料および方法 (または対象および方法), 結果および考察とする。
 - v) (a) 本文が和文の場合: 概要 (600 字以内) と 3 ~ 5 語程度の索引用語をつける。英文の表題, 著者名, 所属 (必要があれば指導者名), Key words ならびに英文抄録 (500 words 以内) をつける。ただし, 症例報告, 報告および資料は Key words ならびに英文抄録を省略することができる。
(b) 本文が英文の場合: 英文抄録 (300 words 以内) と 3 ~ 5 単語程度の Key words をつける。和文表題, 著者名, 所属 (必要があれば指導者名), 索引用語ならびに概要 (1200 字以内) をつける。
 - vi) 和文論文内の英文抄録, 英文論文の本文, 図表はネイティブチェックを受けておく。
 - vii) 本文の区分は次の通りとする。大見出しは上下 1 行あけ, 中見出しは上のみ 1 行あける。小見出しは行をあけない。
 - viii) 度量衡単位は, g, mg, µg, m, cm, mm, cm², L, mL, µL などを用いる。
 - ix) 図表の説明は原則として本文と同一の言語とし, 図 1, 表 1 のように書く。また, 本文中の挿入箇所を, 本文原稿の該当部分の欄外に図 1 などと朱書きしておく。
 - x) 原稿の終わりの空欄に「著者への連絡先」として, 代表者氏名・郵便番号・住所・電話番号・Fax 番号・e-mail アドレスを入れる (和文と英文)。
 - xi) 文献はその引用箇所には引用順に番号を付し (例えば, 奥村¹⁵⁾, …といわれる²⁰⁾, のように), 本文の末尾には番号順に次のように書き入れる。
 - a) 雑誌の場合
著者名 (3 名まで記載), 表題, 雑誌名 (略号でよいが, 一般に認められているものとする), 巻, 頁, 年の順に書く。
例:
1) 安細敏弘, 浜崎朋子, 粟野秀慈ほか: 福岡県下 80 歳者の口腔内状況と運動機能の関連性について。口腔衛生会誌 50 : 783-789, 2000。
2) Wang J, Someya Y, Inaba D et al. : Investigation of mineral changes in subsurface enamel lesions using an electrical caries monitor *in vitro*. J Dent Hlth 50: 59-65, 2000。
 - b) 単行本の場合
著者名, 表題, 発行所, 発行地, 版, 年, 引用頁の順に書く。
例:
1) 中村四郎: 新口腔保健学, 医歯薬出版, 東京, 第 1 版, 2000, 167 頁。
2) Miller JS: Gingivitis. In: Hine MK, Hay HC, editors. Preventive dentistry. Mosby Co., St. Louis, 2nd ed., 1999, pp. 98-102。
3) Robins SL, Matthews JB: 齊藤五郎 (監訳): 衛生公衆衛生学。南江堂, 東京, 1999, 255-291 頁。
 - xi) インターネットウェブサイトから引用する場合, 引用箇所には引用順に (*1 のように) 番号を付し, その頁の欄外に脚注としてそのアドレスを掲載する。
例: *1 World Health Organization: Continuous improvement of oral health in the 21st century. http://www.who.int/oral_health/en/ (2005 年 10 月 1 日アクセス)。
 9. この投稿規程に当てはまらないものは受け付けない。
 10. 投稿論文の採否は, 複数の査読委員の意見を考慮して, 編集委員会が決定する。
 11. 受理された論文の著者校正は初校のみとする。
 12. 「会員の声」欄の投稿については第 51 巻 5 号を参照すること。
 13. 「論文奨励賞」については第 63 巻 4 号を参照すること。
 14. 掲載された論文の著作権の譲渡にあたって, 承諾書は日本口腔衛生学会ホームページよりダウンロードし, 署名, 捺印 (外国人については捺印は不要) を行い, 投稿時に下記事務局宛に郵送する。本誌に掲載された著作権 (著作財産権 copy right) は本学会に帰属するものとする。
 15. 本誌掲載の著作物の複写権, 公衆送信権は本学会に帰属するものとする。
 16. 疫学研究, 臨床研究および動物実験に関しては, 倫理審査委員会等による審査を受け, 投稿原稿の「材料と方法」の項にその旨を記載する。承認した倫理審査委員会の名称および承認番号を記載する。
 17. 利益相反に関する言及が必要な場合は, 謝辞に記載する。
- 承諾書送り先, および投稿全般に関する問合せ先:
〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 口腔保健協会内
日本口腔衛生学会事務局編集係
電話: 03-3947-8894 FAX: 03-3947-8073
メール: hensyu8@kokuhoken.or.jp

口腔衛生学会雑誌発行予定

1 号 (1 月 30 日) 2 号 (4 月 30 日) 3 号 (7 月 30 日)
4 号 (10 月 30 日) (講演集は増刊号)

論文作成用のテンプレートが学会ホームページ内 (<http://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/journal.html>) からダウンロードできるようになりました。論文投稿の際, ご利用ください。

承 諾 書

一般社団法人 日本口腔衛生学会
編集委員会殿

年 月 日

下記に署名，捺印した著者は下記の表題の投稿原稿が「口腔衛生学会雑誌」に掲載された際には，同誌の投稿規程により，そのすべての著作権（著作財産権 copy right）を貴学会へ譲渡することを承諾いたします．

表題：

氏名：	_____ 印	_____ 印
	_____ 印	_____ 印
	_____ 印	_____ 印
	_____ 印	_____ 印
	_____ 印	_____ 印
	_____ 印	_____ 印
	_____ 印	_____ 印